

E-2 雪景色の中、温泉と会津を楽しむ



ゆき、ゆき、ゆき! 野地温泉から会津若松路

福島駅から野地温泉までの地吹雪にも似た山路の行程、野地温泉では6種類の風呂を楽しめる。野地温泉から猪苗代駅に抜ける山路の墨絵にも似た雪景色。会津若松市では鶴ヶ城のお堀の雪、石垣にはりついた雪、またこの地方ならではの伝統工芸(塗り物、起き上がり小法師)や伝えられてきた食文化の体験

提案者 千葉県成田市 今野仁子

1日目

JR福島駅(福島市)

ホテルの送迎バス利用
(眼下に広がる福島市内)

野地温泉(泊)(福島市)
(雪の中で温泉三昧)

2日目

タクシーで約50分
(山路の雪景色)

JR猪苗代駅(猪苗代町)

(地吹雪の中の走行)

JR会津若松駅(会津若松市)

鶴ヶ城(雪景色)(会津若松市)

渋川問屋(会津若松市)

伝統工芸店めぐり(会津若松市)

JR郡山駅(郡山市)



鶴ヶ城
お堀の雪、石垣にはりついた雪
会津若松市観光公社 TEL:0242-27-4005



渋川問屋 TEL:0242-28-4000
北前船の当時の問屋で今では滅多にお目にかかれない重厚な建物。祭り御膳、鶴コースでは当時生魚はなかなか手に入らない土地柄で発展したのであるう魚料理やこづゆ、めずらしいそばの粒のかゆなどが味わえる。



野地温泉
6種類の温泉を楽しむ、時間で入浴できる温泉が指定されるのでスケジュールがたてやすく、無駄なく入れる。千寿の湯は栓のやわらかい湯舟と白濁のお湯が歴史ある温泉を実感させる。露天風呂には雪が吹雪いていても、頭はすっきり身体はぼかぼか大自然の雄大さを身近で体験。夜は福島市内の夜景も見える。
土湯温泉観光協会TEL:024-595-2217

